※令和４年度以降入学生用

学校番号	1017

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	教科「情報」準拠　課題で学ぶ「情報」テキスト （株式会社ベネッセコーポレーション）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンピュータの基本的な知識の勉強とワード・エクセル・パワーポイントの基本的な使い方、動画編集などの実習を行います。

２　学習の到達目標

・実習などを通して、情報機器の固有な表現や特性などについて理解させ、その機器の基本的な操作を習得させる。
・取得した技術を用いて、情報を精査し、必要な情報をまとめ、発表したり作品を完成させることができる。
・ICT を活用した問題解決や、情報機器を活用することに関心を持ち、積極的かつ主体的に取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コンピューターと情報のデジタル化 表計算ソフトの活用	1. コンピューターの仕組み 2. データの管理 表計算ソフトの実習	a：ハードウェアとソフトウェアの関係を理解している。 c: ハードウェアとソフトウェアの学習に，興味・関心をもって取り組んでいる。 ab：表計算ソフトの以下の機能を使って課題が作成できる。 ・罫線の設定 ・オートフィル ・セル、行列の設定 ・ページ・印刷設定 ・SUM、MAX、MIN、AVERAGE、COUNT ・グラフ c：表計算ソフトに興味・関心をもっている。	確認テスト 提出課題	提出プリント 提出課題	提出プリント 振り返りシート
		3. 情報のデジタル化 4. 問題解決におけるコンピュータの活用 表計算ソフトの実習	a: 2 進数，10 進数，16 進数をそれぞれ相互に変換する方法を理解している。 a：音やデジタル化（標本化，量子化，符号化）の仕組みについて理解している。 b: 文字と文字コードの関係を理解し，それらを適切に変換することができる。 b：アルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現することができる。 c: デジタル化の学習について興味・関心をもって取り組んでいる。 a：ab：表計算ソフトの以下の機能を使って課題が作成できる。 ・IF、SUMIF、COUNTIF ・ユーザー定義の表示形式 ・データ処理（並べ替え）			

※令和４年度以降入学生用

2学期	情報通信ネットワーク プレゼンテーションソフトの活用	5. コンピューターネットワーク 6. プロトコルについて 7. インターネットのサービスの仕組み 8. メールソフトの実習 プレゼンテーションソフトの実習	a: IP アドレス, ドメイン名, URL, DHCP サーバ, HTML などの意味や働きについて理解している。 b: 電子メールの送受信の仕組みについて, 概要を説明することができる。 c: 身近なコンピュータシステムについて興味・関心を持っている。 ab： プレゼンテーションソフトの以下の機能を使って課題が作成できる。 ・テーマの設定 ・プレースフォルダの編集 ・ワードアート・図形・画像の挿入 ・アニメーション ・画面切り替え効果 ・表の挿入 ・ハイパーリンク c: プレゼンテーションソフトに興味･関心をもっている。	確認テスト 提出課題	提出プリント 提出課題	提出プリント
	ワープロソフトの活用	ワープロソフトの実習	ab： ワープロソフトの以下の機能を使って課題が作成できる。 ・ワードアート・画像挿入 ・表の挿入・編集 ・ヘッダー・フッター ・ページ設定・印刷 ・段落（均等割付・行間など） ・インデント・タブ ・テキストボックス ・図形の挿入・編集 ・オートフォーマット・拡張書式 ・段組み・セクション区切り ・差し込み文書 ・スタイル・目次・牽引 c: ワープロソフトに興味･関心をもっている。	提出プリント 提出課題	提出課題	提出プリント

※令和４年度以降入学生用

3学期	動画ソフトの活用	貝塚高校フェスティバルの動画作成	a: 動画作成方法について理解できる。 a:適切なプラニングシートを作成することができる。 b: 動画上に文字，画像などが適切に表現されている。 c: 動画制作に意欲的に取り組んでいる。	提出プリント	提出課題	提出プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度